

## 研究企画賞受賞活動：田畑伸一郎代表「ユーラシア地域大国の比較研究」

本企画はロシア・中国・インド等のユーラシア地域大国について、様々な側面から比較検証を行うプロジェクトである。成果面では、比較軸に基づく総合的、かつ内在的理解をめぐした歴史認識のプラットフォームの構築がなされようとしている。その意味で、現代において経済的なプレゼンスを高めるロシア、中国、インドを地域大国として位置付けて比較することによって、地域の特殊性や固有性を見いだすことを得意とする地域研究者が、敢えてそれらの国々が持つ一般性・普遍性の解明に挑み、中軸国(先進国)認識とならぶ新たな基軸としての経済・政治モデルの提示を試みている点は、日本における世界認識を拡大し、大きく転換する上でインパクトを持ち得ている。また、地域研究諸機関の学際的連携体制の構築、国際シンポジウムの開催や外国人研究者の招聘などの国際的研究交流の展開、公募研究の採択やプロジェクト研究員の採用等による研究支援体制の構築、論集刊行による成果の対外公開を通じて地域研究を推進させた点は、今後の地域研究にインパクトを与える業績と言えよう。

研究企画としての広範さは、経済的発展論・統治モデル論、国際秩序論・近代帝国論・越境論・文化的求心／遠心力論の6大イシューとして示され、現時点で最初の2冊が出版されている。どのイシューもきわめて意欲的に学問的挑戦を試みており、今後ユーラシアプレートに乗っている諸地域を理解する新たな「支点」を提供している。と同時に、日本の立ち位置に関する再検討と再定義が、ますます必要となっていることを明示的に提起している。まさに、北米プレートにも乗っている日本の21世紀世界における歴史的空間的位置を考えるべき新しい眺望を提供しているといえよう。

もちろん、この企画が地域研究領域の独自の、そして普遍的な課題追求に充分であるということではなく、今後さらに世界に開かれた日本における成果として、ロシア・インド・中国のみならず欧米などの学会における国際的発信とそこでのインターアクションが期待されるだろう。